

第1期 小郡寺子屋「志学舎」報告書【第20講座】

開催日 2023年4月4日（火）

● 時 間 9:30～16:30

● 場 所 小郡市生涯学習センター（小郡市大板井）

● 参加者

■第1期生14名（欠席：2名）

■木村 貴志 塾長 ／森 就子（事務局）／井上 和樹（事務局）／西山 茂代（事務局）

● 内 容 座学

9:30～11:00 「萩往還を歩く」の振り返り、卒塾式に向けて①

11:10～12:00 卒塾式に向けて②

12:00～13:00 昼食（お弁当）

13:00～16:00 卒塾式に向けて③

16:10～16:30 本日の振り返り

■「萩往還を歩く」の振り返り、卒塾式に向けて①

○解散式の時に流したスライドショーをもう一度鑑賞

○塾生レポート（3人分）を読み、他の人が感じたことなどを読み取る。

○卒塾式の流れの確認

○卒塾スピーチで話そうと思っていることをノートに書きだす

テーマは「小郡寺子屋「志学舎」で、私が感じたこと、気づいたこと、学んだこと」

○1年間の学習の振り返り

・これまでの講座で学んできたことを再度振り返る。

①子どもと大人に共通する課題

1. やらされている 2. 自分の頭で考えない 3. 志がない

②社会人として大切なこと・・・「学校でできる」と「社会でできる」は違う

社会では・・・1. 正解は一つではない（最適解） 2. 考えて行動するのが主

3. 自分で考える 4. 主体的

③これから子どもたちに必要なもの

1. プリンシプル 2. 自分の考えを持ち、伝える力

3. 人間力を高める、価値観を磨く、教養を深める 4. 体力と気力を鍛える etc



■卒塾式に向けて②

○卒塾式で披露する少年教育10原則朗唱、論語素読のリード役を決める

・10原則朗唱・・・Aさん

・論語素読（1～4）・・・Bさん

（5～8）・・・Cさん

（9～12）・・・Dさん

（13～16）・・・Eさん

（17～20）・・・Fさん



○論語集作成・・・卒塾式で使う論語抄（20編のみ）を各自作成する

○10原則朗唱、論語素読（卒塾式本番さながらに）

＜塾長より＞

- ・聴いてくれている保護者の方が感心するよう、声の大きさ、声を揃えること。
- また、リードする人が間違えたり、口ごもったりしないように。



■卒塾式に向けて③

○卒塾式の一連の流れを練習

1. 開式の辞
2. 国歌斉唱
3. 卒塾証書授与
4. 塾長式辞
5. 主催者祝辞
6. 実行委員長祝辞
7. 支援者・実行委員紹介
8. 10原則朗唱・論語素読
9. 卒塾生スピーチ
10. 支援団体より挨拶
11. 祝電披露
12. 皆勤賞表彰
13. 保護者代表あいさつ
14. 閉式の辞

※特に3. 卒塾証書授与におけるお辞儀について、一人ひとり所作を確認



○論語の意味を理解する

○卒塾スピーチのロジックツリー作成→実際にスピーチ

＜塾長より＞デリバリースキルを意識すること。

○3グループに分かれて、意見交換（小郡寺子屋「志学舎」で感じたこと、気づいたこと、学んだこと）

【グループから出た意見】

- ・ノートをしっかり書いていないとあとで困る
- ・吉田松陰や経営者の方はまわりの人たちのことを第一に考えている
- ・レポートで自分の意見が書けるようになった
- ・合宿が楽しかった
- ・人前で話せるようになった
- ・サポートスタッフとしてかわり続けたい
- ・塾長の話は最初どうでもいいと思ったけど、とても大切な事だと気がついた
- ・志の柱が何となくできた
- ・レポートの質と量が上がってよかった
- ・教科書に載っていないことが学べた貴重な機会だった
- ・聞く力が身についた

○塾長への質問タイム（塾長自身の事をほとんど話していなかったため、急遽設定）



■本日の振り返り

○ロジックツリー作成、レポート作成